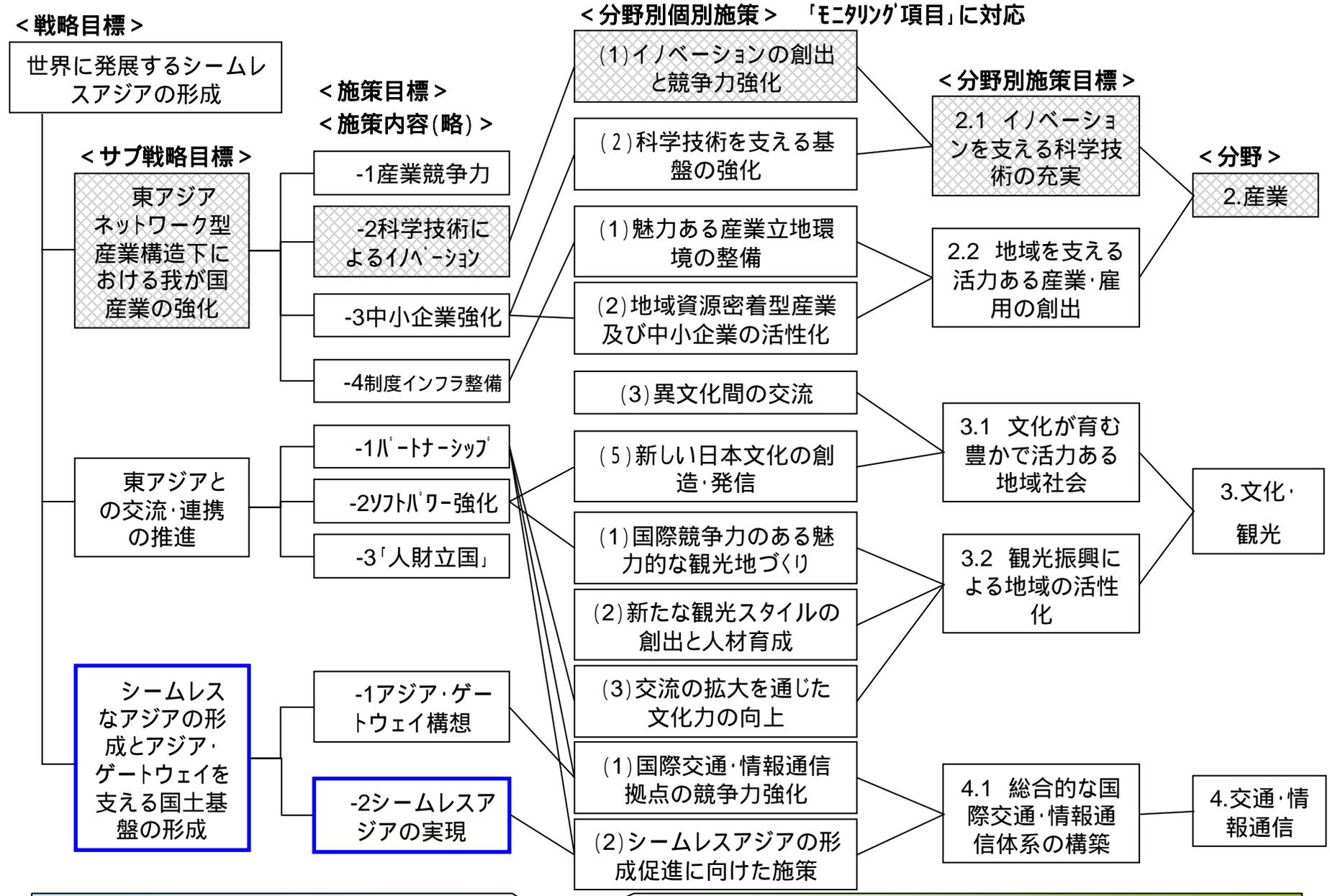


# モニタリング項目・指標候補の検討結果 (戦略1 世界に発展するシームレスアジアの形成)

- ( 1 ) 目標・手段体系分析図・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ( 2 ) モニタリング指標候補抽出表・・・・・・・・・・・・ 2

# 目標・手段体系分析図 <戦略1 世界に発展するシームレスアジアの形成>



サブ戦略目標 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行 )
-1産業競争力の強化	・グローバルなネットワークの中で、先端的な研究開発を進めるとともに、東アジアに高付加価値の基礎素材や部品を供給していく	・東アジアへの高付加価値基礎素材や部品の輸出状況	・東アジア諸国への高付加価値基礎素材・部材の輸出量、輸出額	×
-2科学技術によるイノベーションを生み出す仕組みの活性化	・知的・産業クラスターの強化	・産学協同ネットワークの整備状況	・国立大学等における企業との共同研究数	
			・ブロック別大学等における共同研究センター等の推移	
			・ブロック別共同研究数の推移	
	・研究と市場の双方向のつながりの強化	・研究と市場の連携状況	・TLOの設立件数 ・TLOの活用比率	
-3我が国製造業の強みの源泉であるものづくり基盤技術を担う中小企業の強化	・自動車や情報家電産業を支える幅広い部品・素材産業の中小企業の強化	・中小企業のものづくり環境整備への支援状況	・中小企業支援制度の資金、セミナー等の開催回数	×
	・世界規模の市場において高いシェアを持つ中小企業の強化	・外国企業との生産・販売・技術などの業務提携の支援状況	・中小企業の受注高の海外への割合	×
-4国際的にみたイコール・フットINGの確保等の観点から必要な制度インフラの整備	・海外からの投資を積極的に誘導し、あらた技術や革新的な経営ノウハウ等の取り込みや競争の活発化を通じた産業の生産性の向上	・海外からの投資状況	・海外からの投資額	×
	・規制改革の加速や制度インフラの整備	・地域の産業立地環境整備支援状況	・工場立地基準の基礎的自治体への権限委譲件数	×
	・国際的なビジネス環境や外国人にとって暮らしやすい生活環境構築	・外国人の受け入れ態勢状況	・賃金、事務所賃料等、通信費、公共料金、税制(東アジア主要都市の投資関連コストの内外価格差)	
国土形成計画第1部(戦略的目標)から抽出		国土形成計画第2部(分野別施策)から抽出		事務局による検討

)『』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 東アジアとの交流・連携の推進

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行 )
-1東アジアの近隣諸国との環境、都市、防災等の問題解決のための多層のパートナーシップの強化	・我が国の技術力・経験を活用し、共通問題を解決するためのプラットフォームとして政府間などの新たな枠組みの構築	・東アジアが共有する諸問題解決のための知的共通基盤(知的プラットフォーム)の整備状況	・環境、都市、防災に関する東アジア諸国との知的共通基盤数	×
	・連携を支える研究・交流拠点の充実	・研究交流拠点整備状況	・研究交流拠点整備状況	×
-2ソフトパワー強化のための日本文化への理解の深化	・日本発のコンテンツや製品を積極的に発信	・日本発コンテンツ数の発信状況	・日本発コンテンツ数	×
	・観光立国実現に向けた取組による東アジアからの来訪者の増加	・東アジアからの来訪者の動向	・東アジアからの来訪者数	×
			・訪日外客数・出国日本人数・国際旅行海外収支	
			・出国者当たり来訪外客	
・地域別外客訪問数				
-3「人財立国」の実現に向けた将来の東アジアにおける連携を支える次世代を担う国内外の人材育成のための交流ネットワークの重層的形成	・国際的に活躍できる人材の養成	・国際的に活動する人数	・国外での就労者数・国際機関における日本人職員の割合	×
	・日本や日本語についての学習機会の充実	・日本に関する学習機会	・日本語教育スクール数	×
	・公共施設における英語以外のアジア言語・記号標記など居住・滞在環境の整備	・公共施設における英語以外のアジア言語・記号標記など居住・滞在環境の整備状況	・公共施設における英語以外のアジア言語・記号標記など居住・滞在環境の整備状況	×

)『 』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。

サブ戦略目標 シームレスなアジアの形成とアジア・ゲートウェイを支える国土基盤の形成

施策目標	施策内容	モニタリング項目(案)	モニタリング指標候補	現行 <sup>1)</sup>
-1我が国がアジアと世界を結ぶ国際交通、情報通信拠点の役割を引き続き担う(アジア・ゲートウェイ)	・国際海運・通信等の世界標準の先導	・国際海運・通信分野における世界標準との適合状況	・交通技術や情報通信技術における世界標準の獲得数	×
	・コスト・サービス競争力の高い港湾、空港、情報通信機能の整備	・港湾、空港の競争力比較	・国際港湾の港湾コスト、リードタイム	×
	・世界の基幹航路・航空・情報ネットワークへのアクセスの確保	・世界の基幹航路・航空・情報ネットワークへのアクセス状況	・世界の基幹航路・航空・情報ネットワークへのアクセス状況	×
	・高規格幹線道路や鉄道の整備等、高速交通ネットワークの形成	・空港・港湾と高規格幹線道路、鉄道の連絡状況	・ICから10分以内でアクセス可能な拠点的な港湾空港数	×
-2シームレスアジアの実現(「東アジア1日圏」の拡大、「日帰りビジネス圏」の形成、「貨物翌日配達圏」の形成、「アジア・ブロードバンド環境」の形成)	・アジア・ゲートウェイとしての国際交通・情報通信拠点機能の拡充	・東アジア1日圏の変遷 ・日帰りビジネス圏の範囲 ・貨物翌日配達圏の範囲 ・アジア・ブロードバンド環境の進捗度 ・アジア諸国への接続便数	・東アジア1日圏	×
			・日帰りビジネス圏	×
			・貨物翌日配達圏	×
			・アジア諸国のブロードバンドインターネット加入者数	×
	・広域ブロックが隣接する東アジア諸地域と直接交流するための「広域ブロックゲートウェイ」としての国際港湾及び空港の有効活用	・地方の港湾・空港の東アジア諸国直行便の状況	・アジア諸国への接続便数	×
			・地方の港湾・空港の東アジア諸国直行便数	×
・道路、鉄道等によるアクセス網の充実	・港湾・空港の鉄道アクセスの整備状況	・港湾・空港の鉄道アクセスの整備状況	×	
		・ICから10分以内でアクセス可能な拠点的な港湾空港数(再掲)	×	

<sup>1)</sup> 『 』は、現行の「国土のモニタリング」のデータが活用できることを、『×』は新たなデータが必要なことを示す。